

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年2月18日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年2月18日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。
なお、不適合の対象外件名が含まれていたのを2019年2月21日に削除しました。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【6号機原子炉建屋排気隔離弁セクターの弁排気口からのエアリークについて】 6号機原子炉建屋B排気隔離弁セクター弁の排気口からのエアリークが連続的に排気されていることを確認。 なお、6号機原子炉建屋空調を停止し、当該隔離弁を全閉にしたことにより、セクター弁の排気口からのエアリークは止まった。 セクター弁Oリングに不良が確認されたため、今後交換を行う予定。 原子炉建屋の隔離機能に影響はないことを確認。	G II	2月13日
2	【5号機標準時刻信号発信装置の時刻ずれについて】 5号機プロセス計算機室内にある標準時刻信号発信装置の時刻にずれを確認。 なお、手動操作で時刻修正を実施し、監視機能に影響はない。 今後、調査予定。	G III	2月12日
3	【雑固体廃棄物焼却設備有人フォークリフトのモータ駆動部異音について】 雑固体廃棄物焼却設備有人フォークリフトのモータ駆動部に異音を確認。 今後、点検修理を行う。	G III	2月13日
4	【3号機油移送ポンプの現品照合不可について】 3号機油移送ポンプについては、震災で発生したガレキとともに処分されたことにより、現品照合ができないことが判明。	G III	2月13日
5	【車両物損事故の発生について】 発電所構内へ進入中の車両が、車止め設備と接触し、ラジエーターを損傷。 なお、漏えいしたラジエーター水は、吸着マットにて回収。 海洋への流出は無い。	G III	2月13日
6	【地下水バイパスNo. 10評価結果の再評価について】 地下水バイパスNo. 10を評価するデータに入カミスを確認。 なお、正しいデータを入力し、再評価を実施し、問題の無いことを確認。	G III	2月14日